

九州大学病院地区自家用電気工作物保安規程

平成 26 年度九大規程第 54 号
制 定：平成 26 年 1 月 28 日
最終改正：平成 27 年 3 月 31 日
(平成 26 年度九大規程第 197 号)

(趣旨)

第 1 条 この規程は、電気事業法（昭和 39 年法律第 170 号）第 42 条第 1 項の規定に基づき、九州大学が病院地区に設置する電気工作物（以下単に「電気工作物」という。）の工事、維持及び運用に関する保安（以下「電気工作物に係る保安」という。）を確保するため必要な事項を定めるものとする。

(他の法令との関係)

第 2 条 電気工作物に係る保安に関しては、消防法（昭和 23 年法律第 186 号）、建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）その他の法令又はこれに基づく特別の定めのある場合を除くほか、この規程の定めるところによる。

(定義)

第 3 条 この規程において「部局」及び「部局長」とは、別表第 1 に掲げるものをいう。

(総括管理)

第 4 条 総長は、電気工作物に係る保安の業務（以下「保安業務」という。）を総括管理する。

第 5 条 事務局長及び部局長は、別表第 1 に定めるところにより当該部局の保安業務を管理する。

(主任技術者)

第 6 条 保安業務を監督させるため、主任技術者を置く。

2 主任技術者は、電気主任技術者免状の交付を受けている者とする。

3 主任技術者は、病院長の推薦により総長が委嘱する。

4 主任技術者が病気その他やむを得ない事情により不在となるときは、総長があらかじめ指定する者がその職務を代行する。

(指揮命令系統及び補助者)

第 7 条 保安業務を円滑に遂行するための指揮命令系統及び連絡系統並びに主任技術者を助け保安業務に従事する者（以下「補助者」という。）は、別表第 2 に定めるところとする。

(部局長の義務)

第 8 条 部局長は、電気工作物に係る保安上、次に掲げる事項を決定し、又は実施しようとするときは、主任技術者の意見を求めるものとする。

(1) 年度計画に関する事項

(2) 電気工作物の工事の計画に関する事項

(3) 電気事故防止に関する事項

(4) 災害対策に関する事項

2 部局長は、所管官庁に提出する書類の内容が保安業務に関係あるときは、主任技術者の参画のもとに立案し、決定するものとする。

3 部局長は、所管官庁が法令に基づいて行なう検査には、主任技術者を立ち会わせるものとする。

(使用前安全管理検査等)

第 9 条 部局長は、法令に基づく法定事業者検査に関して、主任技術者の指導及び監督の下に実施し、電気工作物の工事が工事計画に従って行われたものであること及び経済産業省令で定める技術基準に適合していることを確認しなければならない。

2 部局長は、法令に基づく使用前自主検査に関して、主任技術者の指導及び監督の下に必要な検査要員を配置した上で実施し、電気工作物の工事が工事計画に従って行われたものであること及び経済産業省令で定める技術基準に適合していることを確認しなければならない。

(主任技術者の職務)

第 10 条 主任技術者は、部局長を助け、保安業務を監督するものとする。

2 主任技術者の職務は、次に掲げる事項について行うものとする。

(1) 電気工作物に係る保安教育及び保安訓練に関すること。

- (2) 電気工作物の工事にすること。
- (3) 電気工作物の保守にすること。
- (4) 電気工作物の運転及び操作にすること。
- (5) 電気事故防止にすること。
- (6) 災害発生時の措置にすること。
- (7) 保守業務の記録にすること。
- (8) 保安用器材及び書類の整備にすること。

3 主任技術者は、法令及びこの規程を遵守し、保安業務の監督を誠実に行わなければならない。
(保安教育及び保安訓練)

第11条 主任技術者は、補助者に対し、保安業務を行うために必要な知識及び技能の教育を計画的に行うとともに、電気事故その他非常災害が発生したときの措置について、適宜実地指導訓練を行うものとする。

(工事の実施)

第12条 部局長は、電気工作物の工事を実施する場合は、その工事の内容に応じて作業責任者を選任し、主任技術者の監督の下にこれを施工するものとする。

2 部局長は、前項の工事が完成したときは、保安上、支障がないことを確認してから引き取るものとする。

(点検及び測定)

第13条 主任技術者は、別に定める基準により、電気工作物に係る保安のための巡視点検、精密点検（以下「点検」という。）及び測定を実施しなければならない。

(技術基準への適合措置)

第14条 主任技術者は、前条の点検及び測定の結果、法令に定める基準に適合しない事項が判明したときは、その旨を速やかに部局長に報告するものとする。

2 部局長は、前項の報告を受けたときは、速やかに当該電気工作物を修理し、改造し、又は使用を一時停止し、若しくは制限する等の措置を講じ、常に法令に定める基準に適合するようにしなければならない。

(運転及び操作基準)

第15条 職員は、電気工作物を運転及び操作する場合には、機器の性能、取扱方法等を熟知した上、別に定める基準により、常に安全確実に行わなければならない。

2 遮断器及び断路器の開閉については、前項の規定にかかわらず九州電力株式会社との間に締結した契約に基づくところによる。

(運転停止時の保全方法)

第16条 電気工作物の発電設備の運転を相当期間停止する場合は、休止設備と運転設備の区分を明確にした上、主要機器の点検手入れ、防塵、防錆、防湿等の対策を行い、運転再開に支障がないよう保護を講じる。

(電気事故等の再発防止)

第17条 主任技術者は、電気事故その他異常な事態（以下「電気事故等」という。）が発生したときは、直ちに当該電気工作物の精密検査を行い、その原因を究明し、再発防止のための必要な措置を講じなければならない。

2 補助者は、電気事故等が発生したときは、速やかにその原因、状況等について主任技術者に報告しなければならない。

(災害発生時の措置)

第18条 主任技術者は、台風、地震、火災その他の非常災害発生時において電気工作物に係る保安を確保するための指揮監督を行うとともに、危険と認められるときは、直ちに当該範囲の送電を停止することができる。

(記録)

第19条 主任技術者及び補助者は、電気工作物に係る保安に関する記録簿を備え、これに所要事項を記録し、保存するものとする。

(責任分界点)

第20条 電気工作物に係る保安上の責任分界点については、九州電力株式会社と協議して定めた位置とする。

(危険の表示)

第21条 特別高圧変電設備その他の高圧電気工作物が設置されている場所には、人の注意を喚起するための表示をするものとする。

(測定器具類の整備)

第22条 電気工作物に係る保安上必要とする測定器具類を常に整備し、保管しておくものとする。

(設計図等の保存)

第23条 電気工作物に関する設計書、仕様書、取扱説明書等については、当該電気工作物の設置期間中保存するものとする。

(手続書類等の保存)

第24条 関係官庁、電気事業者等に提出した書類、図面その他主要文書については、その原本若しくは原図又はそれらの写しを必要期間保存するものとする。

(保安業務の委託)

第25条 電気工作物の保安業務は、電気事業法施行規則（平成7年通商産業省令第77号）で定める要件に該当する者に委託して行わせることができる。

(細則)

第26条 この規程に定めるもののほか、保安業務の実施に関し必要な事項は、細則で定める。

附 則

この規程は、平成26年12月1日から施行する。

附 則（平成26年度九大規程第197号）

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

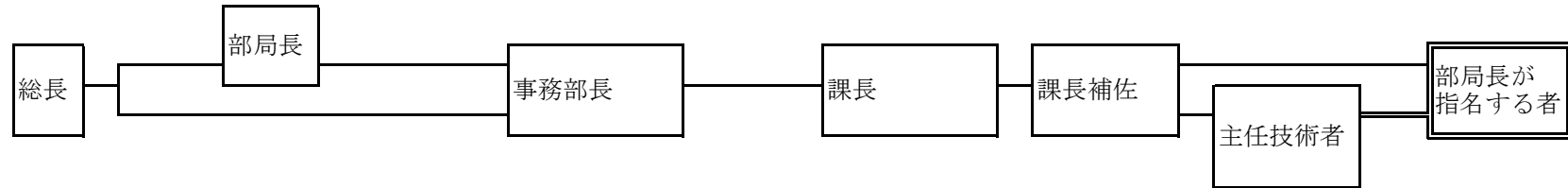
別表第1（第3条関係）
病院地区

部局	部局長	管理範囲
医学研究院	医学研究院長	医学系学府、医学研究院及び医学部（病院を除く。）に設置した電気工作物
歯学研究院	歯学研究院長	歯学府、歯学研究院及び歯学部（病院を除く。）に設置した電気工作物
薬学研究院	薬学研究院長	薬学府、薬学研究院及び薬学部（病院を除く。）に設置した電気工作物
生体防御医学研究所	生体防御医学研究所長	生体防御医学研究所に設置した電気工作物
病院	病院長	病院（別府病院を除く。）に設置した電気工作物（病院宿舎を含む。）
附属図書館医学図書館	附属図書館長	附属図書館医学図書館に設置した電気工作物
医療系統合教育研究センター	医療系統合教育研究センター長	医療系統合教育研究センターに設置した電気工作物
先端融合医療創成センター	先端融合医療創成センター長	先端融合医療創成センターに設置した電気工作物
先端医療イノベーションセンター	先端医療イノベーションセンター長	先端医療イノベーションセンターに設置した電気工作物
免疫機構研究センター	免疫機構研究センター長	免疫機構研究センターに設置した電気工作物
環境発達医学研究センター	環境発達医学研究センター長	環境発達医学研究センターに設置した電気工作物
エピゲノムネットワーク研究センター	エピゲノムネットワーク研究センター長	エピゲノムネットワーク研究センターに設置した電気工作物
ヒトプロテオーム研究センター	ヒトプロテオーム研究センター長	ヒトプロテオーム研究センターに設置した電気工作物
創薬育薬最先端研究基盤センター	創薬育薬最先端研究基盤センター長	創薬育薬最先端研究基盤センターに設置した電気工作物

合成システム生物学研究センター	合成システム生物学研究センター長	合成システム生物学研究センターに設置した電気工作物
キャンパスライフ・健康支援センター	キャンパスライフ・健康支援センター長	キャンパスライフ・健康支援センター（病院地区）に設置した電気工作物
循環器病未来医療研究センター	循環器病未来医療研究センター長	循環器病未来医療研究センターに設置した電気工作物
動的構造生命科学研究センター	動的構造生命科学研究センター長	動的構造生命科学研究センターに設置した電気工作物
A R O 次世代医療センター	A R O 次世代医療センター長	A R O 次世代医療センターに設置した電気工作物
医系学部等事務部	医系学部等事務部長	医系学部等事務部に設置した電気工作物（病院地区にある学内共通利用施設を含む。）
病院事務部	病院事務部長	病院事務部に設置した電気工作物

別表第2（第7条関係）

自家用電気工作物の保安に関する組織図



—— は指揮命令系統を示す。

== は連絡系統を示す。

⋯⋯ は当該事務部におかれている場合に該当する。

▭ は補助者を示す。